

自立地域社会に関する論点

1 .人口減少が進展する中で、持続可能で自立的な地域社会の姿をどう描くか。その形成に向けた鍵は何か。その際の国等の関与、役割について、どう考えるか。【参考資料 p.1、 p.2】

- 今後の地域社会の形成に際して、「持続可能性」や「自立性」を重要な視点に据える意味合いをどう考えるか。「自立」と「連携」の関係をどう捉えるか。
- これまでの地域政策をどう評価するか。【参考資料 p.3】
- 持続可能で自立した地域社会の主体、主体間の役割分担をどう考えるか。
- 持続可能で自立した地域社会の活性化に向けた国等の関与、役割をどう考えるか。今後の国による地域政策のポイントは何か。(地域の主体性・自立性の重視、地域間の知恵の競争、政策手法の総合性と的確な選択、重点性・効率性など)
- 自立的な地域社会の維持困難地域について、どう考えるか。【参考資料 p.4】

2 . 地域コミュニティの今日的な意義についてどう考えるか。

(視点の例示)

- ・ 人的資本とその信頼関係、ネットワーク (ソーシャルキャピタル) 【参考資料 p.5、 p.6】
- ・ 地域固有の文化、伝統、環境等のコミュニティ強化への活用 【参考資料 p.7】
- ・ I T のコミュニティ強化への活用
- ・ 高齢者をはじめ個人の Q O L (クオリティ・オブ・ライフ) の向上

3 . 多様な社会的サービス (生活関連サービス) を持続的に提供するための地域社会の経営システムをどのように構築していくか。(生活の場の形成)

- 多様な主体による日常的な社会的サービスの提供の意義について、どう考えるか。【参考資料 p.8】
 (視点の例示)
 - ・小さな循環の形成の意義(市町村等への依存だけでなく、コミュニティレベル等での目に見える循環、租税以外の民間投資、寄付、ボランティア等を主としたサービス提供)
 - ・医療等の生命・財産に係る基礎サービスの提供に関連する公共セクターの責任
- コミュニティベース等の比較的小さなエリアを念頭に、多様な主体による効率的で持続可能な社会的サービスの提供をどのように促進していくか。【参考資料 p.9】
 (視点の例示)
 - ・多様な主体によるサービス提供の拡大が見込まれる分野(環境、教育、健康ほか)
 - ・コミュニティビジネス等共助による新たなサービス供給主体、公共的空間の管理主体等の形成の促進
 - ・NPO、NGOとの連携の促進
 - ・IT等新技術の活用(コミュニティ間の連携等)
 - ・外部人材の活用の意義、役割(プロデューサー機能、触媒効果、団塊の世代など)
 - ・女性の視点での社会的サービス、コミュニティビジネスの開発
 - ・地域通貨、地産地消などの意義、効果
- より広域的対応が求められる高次医療サービス等の的確な提供をどう確保するか。そのために必要な条件整備は何か。(交通、情報通信インフラの整備ほか)

4 .地域の自立的な活性化を目指して、地域経営のあり方をどう考えるか。

- IT、都市・農村交流、環境意識の高まり、国際化等の進展を、どのように地域活性化に活かすか。【参考資料 p.10】

(視点の例示)

- ・ I T の時間距離・情報距離の短縮、市場拡大への活用
- 農林水産資源、環境資源、観光資源など地域固有の資源をどのように発掘し、地域での高付加価値創造、他地域との差別化等の観点から、その資源をどのように活用していくか。

(視点の例示)

- ・ 成功事例の解析と方法論 (How) の一般化
- ・ 第 6 次産業など地域における複合経営化、高付加価値化 (その内部化) ブランド化
- ・ 環境等の地域資源の価値向上に向けた方策、工夫 (自然学校による環境教育、あえてインフラ整備をしない選択など)
- その際の地域への人材の誘致、地域における人材の育成をどう進めるか。【参考資料 p.11、 p.12、 p.13】

(視点の例示)

- ・ 外部人材の地域誘導、役割 (団塊の世代、若年層の流入・定着、地域資源の相対的価値の再発見、ファシリテーター機能、地域文化・環境の魅力向上など)
- ・ 大学など地域高等教育機関の活用
- ・ 外部人材の参入に関わる条件整備
- ・ 居住機能確保に関して、都市・地域間の連携 (高齢者が保有する都市の住宅の資金化など)
- 自立的な取り組みによる活性化の文脈で、地域間連携の意義をどう捉え、どう促進していくか。その際の公的主体の役割は何か。
(交通、情報通信インフラの整備ほか)

- 地域への投資誘導、地域ビジネスを支える地域的な資金循環の形成について、どう考えるか。【参考資料 p.14、 p.15、 p.16】

(視点の例示)

- ・ リレーションシップバンキング等の地域力
- ・ 政策的な要請 (公的主体による呼び水 (マッチング) 効果など)
- ・ 投資誘導を図るための、地域側からのアプローチ (地域力の開示など)

「持続可能」で「自立的」な地域社会の形成に向けて（計画部会報告）



地域コミュニティの今日的意義とその活性化に向けて（計画部会報告）

<地域コミュニティの崩壊>

- ・ 地方圏から大都市圏への人口移動
- ・ 地方圏も含めて生活様式の都市化、広域化
- ・ 経済的価値の重視
- ・ 相互扶助システム（コミュニティ）から専門処理システム（政府部門）への進行（政府部門の拡大）

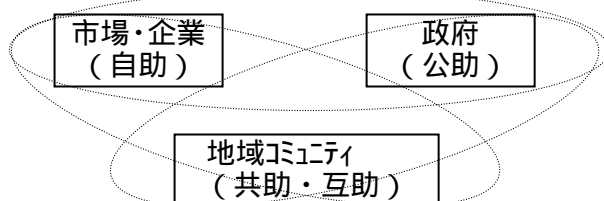
地域コミュニティの弱体化（地域における人間関係・連帯感の希薄化）

- ・ 住民の直接的な問題解決行動により、画一的でない、多様で充実したサービスが供給される可能性
- ・ 多様な価値観を備えた個々の住民の社会参加を促進する可能性

- ・ 住民をはじめ多様な主体による地域づくりなど社会参加・貢献活動の増加、社会参加意欲の高い高齢者の増加
- ・ 国・地方を通じた政府部門の財政制約の深刻化

<地域コミュニティの今日的意義>

地域社会が抱える問題・課題の解決のためには、市場と政府に加えて地域コミュニティを活用



のバランスの取れた問題解決

パフォーマンスの向上

（個人の満足度向上、サービス供給主体のリスクの低減）
（財政制約の厳しい政府部門の効率化にも寄与）

コミュニティの強化、コミュニティ間の橋渡し、政府部門との連絡の円滑化、企業、政府部門、地域コミュニティ・NPO間のコーディネーターとなる

<ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）>

「地域が抱える規範・問題意識を共有した、多様な主体間（住民、NPO、企業、行政など）において組織化された相互依存と市民的連携のネットワーク」

地域力の向上へ

地域力 = 経済資本 + 人的資本 + 社会関係資本 + 文化資本 + 環境資本 +

- ・ 生活関連サービスの提供
多様な主体（NPO、ボランティア、コミュニティ・ビジネス）によるサービスの提供等
 - ・ 地域の経済的活性化
地域の人材の組織化、信頼関係に基づくコミュニティ・クレジット（金融担保力）等
- にとって重要なインフラ

<地域コミュニティの活性化促進の方策>

地域固有の資源・ストック（文化、伝統、環境等）の再評価と活用

IT等先端技術の活用

活動支援（コミュニティ・ビジネス、税制面の工夫等）

.....要検討